









活動プログラム（小学生向け）

※低学年と高学年では、それぞれ同じ項目の活動でも内容は別のものを提供

< 5領域の分野 >

- 人間関係・社会性  健康・生活 
- 言語コミュニケーション  運動・感覚 
- 認知・行動 
-
- 地域支援・地域連携 
- 家族支援 
- 移行支援 

健康・生活

- ・友だちと一緒にすることで、楽しみながら食への興味を高める(偏食対応)→健康を保つ
- ・役割分担の中で自分の出来ることを増やし自信も持つ **(自己有用感)**

- ・自分で出来ることは自分でする
- ・自分のことを知っていく活動をする(例:得意なこと・苦手なこと)
- ・苦手なことに対する向き合い方・考え方を知る

運動・感覚

- ・学習の土台となる感覚への支援が中心
- ・楽しく体を動かす中で必要な力を身に付けていく

認知・行動

- ・学習の習慣・姿勢の保持への支援が中心
- ・それぞれの特性に応じた、学習の手助けとなるグッズと一緒に探っていく
- ・WISC 検査などを利用した、一人ひとりに合った学習方法について一緒に考えていく

人間関係・社会性

- ・小さい子との関わりで、慈しむ心・思いやりの心・**自己有用感**を育む
- ・普段をあまり接することのない中高生のお兄さん・お姉さんと遊ぶことを通して、年長児へ憧れを抱き、「してみたい」「こうなりたい」と、少し先の自分をイメージし、挑戦する力を育む

言語・コミュニケーション

- 小集団で行うルールが複数ある遊びを全身を使って楽しく行い、協調性や忍耐力、コミュニケーションスキルなどの向上を目指す

- さまざまな感情について知り(特に負の感情)、感情と感情名をマッチさせていくと共に、感情コントロールとして、自分にあったものはどういったものかを先生と一緒に考え試し、上手に怒りを処理できるようにしていく

- ・好きなもの・こと、得意なもの・ことを増やしていくため、夢中で遊びこめる自由な時間を提供
- ・自由時間が苦手な児童には、選択できる環境を準備し、自由な時間にできる遊びを増やしていく

Spark
ART

全ての領域を含む
総合的な支援

豊かな感性と表現力



保護者交流会

自由(選択)活動

自力通所支援
(主に高学年)

*SST

キッズマルシェ

夏祭り

戸外活動(公共施設利用)

アンガーマネジメント

運動②

スパーク交流会

セルフマネジメント

クッキング・ランチ

運動①

学習支援

*SST: ソーシャルスキルトレーニング

- ・中学進学に向けての体力作りの一環
- ・自分で出来ることを増やすことで自信に繋がっていく **(自己効力感)**

- * 高学年になるにつれ、「事業所の送迎車をお友だちに見られくない」という気持ちも芽生えてくるため、児童の気持ちを大切にしてい

